

2026年 4月 1日入学

2026年 9月21日入学

理工学研究科博士後期課程

一 般 選 拔

社 会 人 特 別 選 拔

外国人留学生特別選拔

学 生 募 集 要 項

茨城大学大学院

【安全保障輸出管理について】

茨城大学においては、日本国政府が定める外国為替及び外国貿易法に基づき、大学として行う貨物の輸出、技術の提供、人材の交流等について、安全保障の観点から適正に管理することとしています。この取組みの一環として、外国人留学生及び外国人研究者の受入れにあたり、事前に研究内容等の確認を実施しています。

法令等により規制されている事項に該当する場合は、希望する研究に制限がかかったり、行えない場合や、教育が受けられない場合があります。また、事前に研究内容等の確認をせず、出願書類提出後に確認依頼をしてしまうと、結果次第では、出願取消になる可能性があります。必ず指導を希望する教員に、**「事前の研究内容等の確認の結果、受入れに問題ないこと」**の確認をしたのちに、出願書類の提出をしてください。なお、研究内容等の事前の確認には1週間程度の日数を要しますので、余裕を持って確認依頼を行ってください。

入学時には、外国為替及び外国貿易法を順守する誓約書に署名していただきます。

In accordance with the Foreign Exchange and Foreign Trade Law of Japan, Ibaraki University is committed to properly managing the university's export of goods, provision of technology, and exchange of human resources from a security perspective. As part of these efforts, the University confirms the research content, etc. prior to accepting foreign students and researchers.

If any of the above items are restricted by law, there may be cases in which the desired research may be restricted or prohibited, or education may not be provided. In addition, if you do not confirm the content of your research in advance and request confirmation after submitting your application, your application may be cancelled depending on the results. **Please be sure to confirm with expected supervisor that expected supervisor can accept you after confirming the content of your research before submitting the application documents.** Please note that it takes about one week to confirm the content of your research in advance, so please make your request well in advance.

At the time of admission, applicants are required to sign a written pledge to comply with the Foreign Exchange and Foreign Trade Law.

はじめに

理工学研究科博士前期課程及び博士後期課程は、理学研究科修士課程と工学研究科修士課程を改組再編して、1995年に発足しました。2004年には、X線、中性子線、レーザー光等の量子ビームに関わる技術者及び研究者を育成するために、応用粒子線科学専攻が研究科に新設されました。2016年には博士前期課程においては、応用粒子線専攻と物質科学専攻ならびに理学専攻の一部を再編し、量子線科学専攻を設置するとともに、博士後期課程の既存6専攻を再編し、量子線科学専攻・複雑系システム科学専攻・社会インフラシステム科学専攻を設置しました。

本研究科の博士後期課程を構成する3専攻の教育研究においては、理学と工学の幅広い専門分野を網羅するとともに、以下の能力を有する人材を育成します。

- ・各専門分野で求められる高度な知識及び技能に基づき、高度な研究を自立して遂行しうる能力
- ・専門分野に限らず、関連する分野においても課題を自ら発見・解決しうる能力
- ・専門とする科学・技術の人間社会、特に経営、環境管理、ならびに組織運営における位置付けを理解できる能力
- ・研究成果を、人間社会の中での位置付けとの関連で専門外の人間にも説明すると共に、広く国内外に発信しうる能力
- ・専門性を活かすと共に、社会情勢を踏まえて地域の活性化に取り組む資質

上記の能力を有する人材育成を目的とし、本研究科では以下のような資質を有する学生を受け入れます。

- (1) 主たる専攻とする科学・技術の専門分野における、修士課程・博士前期課程修了者に求められるの
と同等以上の知識と技能
- (2) 修得した高度な専門知識、技能を活かし、アカデミアに限らず、民間企業、公的機関や教育界など
社会の幅広い分野で活躍することで、地域の活性化に貢献する意欲と熱意

理工学研究科博士後期課程の入学選抜においては以下の知識、技能及び意欲を評価します。

1. 主たる専攻とする科学・技術の専門分野における知識と技能
2. 問題解決に積極的に取り組む意欲

入学選抜において上記の能力・資質を確認するため、面接（口述試験を含む）及び出願書類により、志望研究分野及び関連分野の理工学的専門知識及び研究経験・実績や、研究に取り組む意欲・研究の発展可能性を評価する選抜試験を行い、総合的に判断します。

I. 募集人員

2026 年 4 月 1 日 入学者（進学者も含む）

2026 年 9 月 21 日 入学者（進学者も含む）

専攻名	募集人員（※1）
量子線科学	20 名
複雑系システム科学	10 名
社会インフラシステム科学	10 名（※2）

（※1）募集人員は、各募集の定員ではなく、2026 年度の入学定員です。

（※2）理工学研究科博士後期課程社会インフラシステム科学専攻の募集人員には、令和 5 年度に採択された大学・高専機能強化支援事業（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）に関連する分野である社会インフラ基礎分野及び情報・通信インフラシステム分野（募集人員 7 名）に配属する入学者を含む。

Ⅱ. 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者

- ① 修士の学位又は専門職学位（学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ）を有する者及び4月1日入学については2026年3月までに、9月21日入学については2026年9月までに授与される見込みの者
- ② 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び4月1日入学については2026年3月までに、9月21日入学については2026年9月までに授与される見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び4月1日入学については2026年3月までに、9月21日入学については2026年9月までに授与される見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び4月1日入学については2026年3月までに、9月21日入学については2026年9月までに授与される見込みの者
- ⑤ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び4月1日入学については2026年3月までに、9月21日入学については2026年9月までに授与される見込みの者
- ⑥ 外国の学校、④の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- ⑦ 大学を卒業した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者（文部科学大臣の指定した者）
- ⑧ 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者（文部科学大臣の指定した者）
- ⑨ 大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者、及び4月1日入学については2026年3月末までに、9月21日入学については2026年9月20日までに24歳に達する者

社会人特別選抜に出願できる者は下記のとおりです。

- （1）出願資格①、②、③、④、⑤、⑥及び⑨のいずれかに該当する者で、入学時において継続して2年以上の勤務（在職）経験がある者
- （2）出願資格①、②、③、④、⑤、⑥及び⑨のいずれかに該当する者で、入学時に1年以上在職する者
- （3）出願資格⑦及び⑧のいずれかに該当する者

注：出願資格⑥～⑨のいずれかにより出願しようとする者は、出願資格認定審査を行いますので、「Ⅵ. 出願資格の認定について」を参照の上、出願書類を提出してください。

Ⅲ. 出 願 手 続

一般選抜及び社会人特別選抜に出願を希望する者は、下記により出願してください。

1. 出 願 期 限

2025年9月18日（木）まで

郵送の場合 必ず**書留速達郵便**とし、期間内必着とします。

電子メール添付の場合 受付期間最終日の午後4時【日本標準時(JST)】必着とします。

※試験日までに必ず原紙を提出すること(郵送)。

期限までに原紙の提出が無い場合は、受験資格を失います。

2. 提 出 先

入学後に主指導教員となることを予定している教員に対応する「出願窓口」（各専攻担当教員一覧に記載）

水戸：茨城大学理学部入試係 〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1

電話 029-228-8332 電子メール ao.gsse[at]ml.ibaraki.ac.jp

日立：茨城大学工学部入試係 〒316-8511 茨城県日立市中成沢町4-12-1

電話 0294-38-5010 電子メール ao.gsse[at]ml.ibaraki.ac.jp

※メールアドレスの[at]を@に変換して送信願います。

3. 注 意 事 項

(1) 出願書類に不備がある場合は、受理しません。

(2) 出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。

○障害等のある志願者の事前相談

障害等のある者で、受験上又は修学上配慮を必要とする者は、相談に応じますので、以下の「(3) 問い合わせ先」へ問い合わせてください。

(1) 受験上等配慮申請書の提出方法及び提出期限

相談の結果、申請が必要と判断された場合は、以下の書類を2025年9月3日（水）午後4時までに提出してください。なお、期限までに提出できなかった者は、速やかに問い合わせ先まで連絡してください。

期限を過ぎて提出した場合でも相談は受け付けますが、相談時期や内容等によっては対応できない場合があります。

・受験上等配慮申請書（以下の申請書様式を参考に作成してください）

・医師の診断書の写し又は障害者手帳の写し

※診断書が発行されず、障害者手帳も所持していない場合は、その旨を申し出てください。

(2) 受験上等配慮内容の決定

提出された書類により、受験上及び修学上の配慮について志望専攻、コースの関係教員等と相談（必要な場合は、本学において、当該志願者又は保護者若しくはその立場を代弁し得る関係者との面談等を行うことがあります）のうえ配慮内容を決定し、受験上等配慮申請者に通知します。なお、配慮内容等の協議、また配慮を講じるにあたり、本学の関係する教職員等に個人情報通知されることがありますので、申請に当たってはあらかじめご承知ください。

(3) 問い合わせ先

進学後に主指導教員となることを予定している教員に対応する問い合わせ先

水戸：茨城大学理学部入試係 〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1

TEL 029-228-8332

日立：茨城大学工学部入試係 〒316-8511 茨城県日立市中成沢町4-12-1

TEL 0294-38-5010

申請書様式（以下を例に，A4判縦により印刷してください。）

令和 年 月 日	
茨城大学長 殿	申請者氏名 _____
受験上等配慮申請書	
令和○年度茨城大学大学院理工学研究科博士後期課程○○専攻の入学者選抜を受験するにあたり， 下記のとおり配慮の申請をします。	
記	
1. 氏 名	年 月 日生 男・女
2. 出身学校名	年 月 日 卒業・卒業見込
3. 住所 〒	TEL:
4. 志願予定専攻	
5. 受験上で希望する配慮内容及び理由	
6. 修学上で希望する配慮内容及び理由	
7. 添付書類	

IV. 出 願 書 類 等

出願に必要な書類等は次のとおりです。なお、電子メール添付で出願する場合：本学所定の用紙による書類のうち Form1~6 については、ホームページからダウンロードし、記入の上、ファイル形式を変更せずに添付してください。その他の書類についてはスキャンして Adobe Acrobat 形式ファイル(PDF)もしくは JPEG ファイルとしたものを添付してください。なお、スキャンした書類については、原紙を受験日まで郵送にて提出してください。

出 願 書 類 等	摘 要
入学志願票・履歴書 (Form1)	必要事項を記入してください。
受 験 票 ・ 写 真 票 (Form2)	必要事項を記入し、写真（縦4cm×横3cm、正面上半身無帽で、出願前3か月以内に撮影したもの）を貼付してください。ただし、電子メール添付により出願する場合は、写真についてはデジタル画像を貼り付けたものでも可とします。
修士学位論文要旨 又は 研究経過報告書 (Form3)	<1> 修士の学位取得者は、学位論文の要旨（2,000 字以内、英語の場合は 1,000 words 以内） <2> 修士の学位の取得見込者は、研究経過報告書（2,000 字以内、英語の場合は 1,000 words 以内）
研究及び業務上の 業績調書 (Form4)	出願資格①、②、③、④及び⑤のいずれかで出願する者は、出願時までの研究業績、学会等での研究発表論文などの業績を記載してください。
研 究 計 画 書 (Form5)	入学後に行うことを予定している研究の概要を記載してください。 （1,000 字以内、英語の場合は 500 words 以内）
振替払込受付明細書 又は 収 納 証 明 書 （ 検 定 料 ）	検定料 30,000円 次の①～③のいずれかの方法で納入し、納入後に発行される「振替払込受付証明書」又は「収納証明書」を提出してください。 <u>なお、本学大学院修士課程、博士前期課程又は専門職学位課程を修了した者又は修了予定の者は納入する必要はありません。</u> ①コンビニエンスストアで納入する場合 ア. 「コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法」を参照の上、納入してください。 イ. 納入後は、必ず「取扱明細書」又は「払込受領証」を受け取ってください。 ウ. 「取扱明細書」又は「払込受領証」に印字されている「収納証明書」を切り取り、提出してください。 エ. <u>出願期間最終日の納入受付時間は午後3時まで</u>となりますので、ご注意ください。 ②クレジットカードで納入する場合 ア. e-apply(イーアプライ)ホームページ(https://e-apply.jp/e/ibaraki-gs/)にアクセスし納入手続きを行ってください。 イ. 手続き完了後、支払完了後に送信される電子メールに記載のあるURLよりアクセスし、PDFファイルをダウンロードの上、「申し込み明細」をプリントアウトしてください。電子メール添付にて出願する場合は、「申し込み明細」のPDFを添

振替払込受付明細書 又は収納証明書 (検定料)	付してください。 ウ. 「申し込み明細」に印字されている「収納証明書」を切り取り、提出してください。 エ. <u>出願期間最終日の納入受付時間は午後3時までとなりますので、ご注意ください。</u> ③金融機関の窓口で納入する場合 ア. 払込用紙を出願書類提出先から入手してください。郵送希望の場合は、返信用封筒（郵便切手（440円分）を貼り付けた角形2号封筒）をお送りください。 イ. 別添の払込用紙を最寄りの金融機関に持参して納入してください。 郵便局、銀行、信用金庫、農協などの全国の金融機関窓口で納入できます。 ウ. 振替払込受付証明書（お客さま用）と振替払込請求書兼受領証には、金融機関の受領印があることを確認の上、受け取ってください。 ○必ず金融機関窓口にて納入してください。 ※ATM（現金自動預払機）は使用しないでください。 ○『振替払込受付証明書（お客さま用）』は、他の出願書類と併せて提出してください。 なお、『振替払込請求書兼受領証』は本人控ですので、提出する必要はありません。受験票が手元に届くまで大切に保管しておいてください。 ○払込用紙の「通信欄」，「ご依頼人」等欄の「No.」は受験番号ではありません。 【注意事項】 1. 振込時の振込手数料は、振込人負担となります。 2. 出願書類受理後は、いかなる理由があっても振込済の検定料は返還できません。 ただし、検定料を払い込んだが出願しなかった場合又は誤って二重に振り込んだ場合は、返還請求ができますので、下記に申し出てください。なお、返還される金額は、振込手数料を差し引いた金額となります。 <u>茨城大学財務部財務課経理グループ（電話 029-228-8561）</u> 3. コンビニエンスストア及びクレジットカードで納入する場合の操作方法等については下記にお問い合わせください。 (株) キャリタス「学び・教育」出願・申込サポートセンター(電話 0120-202079) 4. 海外在住で上記①～③の方法で納入することができない場合は、下記にお問い合わせください。 <u>茨城大学理工学研究科入試係： ao.gsse@ml.ibaraki.ac.jp</u> ○. 入学検定料免除 茨城大学入学者選抜試験における災害救助法等の適用地域の被災者に対する入学検定料免除の特別措置について 茨城大学では、災害等で被災した受験生の進学のを確保する観点から、本学入学者選抜試験の出願に際し、入学検定料免除の特別措置を実施いたします。 詳細については、以下に記載する本学ホームページをご覧ください。茨城大学学
--	--

	務部入試・高大連携課までお問い合わせ願います。 本学ホームページURL : https://www.ibaraki.ac.jp/guidance/exemption/ なお、特別措置を希望される方は、出願期間の1週間前までに入試・高大連携課までお問い合わせ願います。 <お問い合わせ先> 茨城大学学務部入試・高大連携課 TEL 029-228-8064
修了（見込）証明書	出願資格①，②，③，④及び⑤のいずれかで出願する者のみ提出してください。
学業成績証明書等 【出願資格②で出願する外国人留学生のみ】	出身大学の学長又は学部長（研究科長），もしくは出身学校の学校長が作成したもの。 ・学士課程もしくは相当の課程の成績証明書 ・修士課程もしくは相当の課程の成績証明書
住 民 票 【外国籍の者のみ】	市区町村長が交付したもの。 国籍，在留資格及び在留期間が明記されたもので，出願前1ヶ月以内に発行されたものを提出してください。 住民票を提出できない場合は，パスポートの写しを提出してください。 出願書類に記入する氏名は，住民票もしくはパスポートに記載のものと同一にしてください。
受験票等送付用封筒	市販の封筒(長形3号)を用い，住所・氏名及び郵便番号を記入し，410円分の郵便切手を貼付してください。 <u>※電子メール添付により出願される場合は，不要です。送信元電子メールアドレスにAdobe Acrobat形式(PDF)にて受験票を送付します。</u>
宛 名 票 (Form 6)	本学所定の宛名票に，必要事項を記入してください。

V. 選抜方法・合格者発表等

1. 選 抜 方 法

面接（口述試験を含む）及び出願書類の内容を総合して判定します。

なお、口述試験の内容は、研究分野に関連した科目についての専門的学力及び修士論文等の内容について問います。

専攻	試験科目	内容
量子線科学専攻	面接 (口述試験を含む)	口述試験を含む個人面接を1時間程度で行い、志望研究分野及び関連分野の理工学的専門知識及び研究経験・実績や、研究に取り組む意欲・研究の発展可能性をみます。
複雑系システム科学専攻		
社会インフラシステム科学専攻		

2. 入 試 日 時

2025年10月7日（火）～2025年10月9日（木）の間の指定する日時

3. 試 験 場

受験票に記された、下記のいずれかの試験場（試験場を間違えないよう注意してください。）

水戸キャンパス試験場 茨城県水戸市文京2-1-1

日立キャンパス試験場 茨城県日立市中成沢町4-12-1

東海サテライトキャンパス試験場 茨城県那珂郡東海村白方162-1

4. 合 格 者 発 表

2025年10月31日（金）（予定）

合格者に郵送により通知します。

電話等による可否の問い合わせには、一切応じることができません。

*注 意 事 項

- （1）面接（口述試験を含む）の会場・時間等については、事前に連絡します。出願する前に、上記入試日時の中の自分の都合を志望指導教員に連絡しておいてください。
- （2）試験当日は、「受験票」を忘れずに持参してください。
- （3）受験の際の宿泊の斡旋は行いません。

VI. 出願資格の認定について

出願資格⑥，⑦，⑧もしくは⑨により出願しようとする者は，事前に本研究科の入学試験出願資格認定審査において，出願資格の認定を行いますので，以下により申請手続きをして審査を受けてください。

1. 出願資格認定審査書類

出願に必要な書類は次のとおりです。

入学試験出願資格認定審査申請書及び審査調書	本学所定の用紙 (Form 7-1)
出願資格認定審査に関する志望指導教員による意見書	本学所定の用紙 (Form 7-2)
研究及び業務上の業績調書	本学所定の用紙 (Form 4)
論文の写し等 (該当者のみ)	業績調書に記載した論文 (複数ある場合は代表的な論文1編) の写し
卒業 (修了) 証明書	最終学校の卒業 (修了) 証明書
学業成績証明書等	出身大学の学長又は学部長 (研究科長)，もしくは出身学校の学校長が作成したもの。 ・出願資格⑦及び⑧のいずれかで出願する者は，学部の成績証明書 ・出願資格⑨で出願する者は，最終学校の成績証明書
在職期間証明書	本学所定の用紙 (Form 8)
博士論文研究基礎力審査に係る確認書	在籍しているもしくは在籍していた学校等の長が発行したもの ※出願資格⑥により出願しようとする者
返信用封筒	住所・氏名・郵便番号を記入し，410円分の郵便切手を貼付した長形3号の封筒 ※電子メール添付により出願された場合は，不要です。送信元電子メールアドレスに <u>Adobe Acrobat 形式(PDF)にて出願資格認定審査結果を送付します。</u>

注：上記の書類のうち，出願書類に含むものは再度使用します。

2. 出願資格認定審査申請受付期限

2025年9月3日 (水) まで

郵送の場合 封筒に「博士後期課程出願資格認定申請書在中」と朱書のうえ，必ず書留速達郵便とし，期間内必着とします。

電子メールの場合 件名を「博士後期課程出願資格認定申請 (氏名を記入)」とし，出願書類を Microsoft Word 形式又は Adobe Acrobat 形式(PDF)にて提出すること。受付期間最終日の午後4時【日本標準時(JST)】必着とします。
※なお，出願資格が認定された場合の原紙の提出については，「Ⅲ. 出願手

続」に記載の注意事項に従ってください。

3. 提出先

入学後に主指導教員となることを予定している教員に対応する「出願窓口」（担当教員一覧に記載）

水戸：茨城大学理学部入試係 〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1

電話 029-228-8332 電子メール ao.gsse[at]ml.ibaraki.ac.jp

日立：茨城大学工学部入試係 〒316-8511 茨城県日立市中成沢町4-12-1

電話 0294-38-5010 電子メール ao.gsse[at]ml.ibaraki.ac.jp

4. 出願資格認定審査結果発表

2025年9月11日（木）に本人あて郵送（速達）又は電子メールにより通知します。

VII. 個人成績の情報開示について

理工学研究科博士後期課程の入学試験の個人成績を、下記により受験者本人に限って開示します。

1. 申込期間等

2026年4月6日（月）から4月24日（金）まで

午前9時から午後5時まで（土・日曜日及び祝日を除く）

2. 申込者

受験者本人に限ります（代理人は不可）。

3. 申込方法

次の書類を持参のうえ来学し、所定の申請書により申し込んでください。

①本学の受験票

②本人確認のできる書類（運転免許証、パスポート等）

③返信用封筒（長形3号／12.0cm×23.5cm）

申込者の住所・氏名・郵便番号を明記の上、590円分郵便切手（書留料金含む）を貼り付けてください。

なお、電話・郵便等での申し込みは受け付けておりません。

4. 申込先

茨城大学理学部入試係 茨城県水戸市文京2-1-1 又は

茨城大学工学部入試係 茨城県日立市中成沢4-12-1

5. 開示方法

受験者本人あてに書留郵便で後日送付します。

6. 開示内容

【評価】不合格者には、段階別（3段階）に区分して開示します。

ただし、各募集単位の不合格者（欠格者は含まない）が5人未満の場合は開示しません。

合格者には、開示しません。

【得点・順位】開示しません。

VIII. 入 学 案 内

1. 入学手続，入学料及び授業料

(1) 入学手続の詳細については，別途通知します。

(2) 入学手続の際に納入する金額は，次のとおりです。

入 学 料	282,000 円	本学大学院修士課程，博士前期課程又は専門職学位課程を修了した者又は修了予定の者は， 納入する必要はありません。
授 業 料	前 期 分 年 額	267,900 円 535,800 円

(3) 学費の免除及び徴収猶予（延納・月割分納）

授業料の納入が経済的理由により困難で，かつ学業優秀な者，又は風水害の被災等の特別な事情のある者には，本人の申請に基づき，選考の上，減免または徴収猶予が認められる制度があります。制度の詳細はホームページをご覧ください。

茨城大学＞経済的支援制度＞学費の免除

<https://www.ibaraki.ac.jp/student/economicsupport/exemption/>

<お問い合わせ先>

茨城大学スチューデントライフサポート室 TEL 029-228-8059・8067

注1：入学手続までに入学料及び授業料の改定が行われた場合には，改定時から新入学料及び授業料が適用されることになります。

注2：在学中に授業料の改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用されることになります。

2. 奨学金

日本学生支援機構による奨学金のほか，地方公共団体や公益法人等の奨学団体等が行っている奨学金制度があります。

① 日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構奨学規定により，選考の上，奨学生に採用されます。ただし，外国人留学生は，原則として出願資格を有しません。詳細は日本学生支援機構のホームページをご覧ください。

<日本学生支援機構ホームページ>

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/>

② 地方公共団体及び公益法人等の奨学金

地方公共団体や公益法人等の奨学団体が行っている奨学金制度があります。申請に当たっては，奨学団体ごとに定める募集資格等を満たしている必要があります。

本学に案内のあった募集内容については，本学ホームページ及び学内の教務情報ポータルシステムを利用し，随時在学生向けに案内しています。

③ 本学独自の奨学金

博士後期課程の学生を対象とした本学独自の奨学金制度があります。

各奨学金の詳細については、以下のホームページをご覧ください。

＜茨城大学ホームページ（奨学金関係）＞

<https://www.ibaraki.ac.jp/student/economicsupport/scholarship/index.html>

3. 修了要件及び学位

理工学研究科博士後期課程を修了するためには、本課程に3年以上在学し、各専攻所定の科目について14単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査並びに最終試験に合格しなければなりません。ただし、在学期間に関しては、特に優れた業績をあげた者については、博士前期課程の在学期間と通算して3年以上在学すれば足りるものとします。

本研究科博士後期課程を修了した者には、博士（工学）、博士（理学）、博士（学術）のうち、学位論文の内容にふさわしい学位を授与します。

4. 長期履修学生制度

職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを申し出た時は、学長の許可が得られることがあります。

なお、入学年度から希望する場合は、入学手続き時に申請してください。

IX. 問い合わせ先

この学生募集要項及び出願に関するお問い合わせは、入学後に主指導教員となることを予定している教員に対応する「出願窓口」（担当教員一覧に記載）に行ってください。

水戸：茨城大学理学部入試係 電話 029-228-8332

日立：茨城大学工学部入試係 電話 0294-38-5010

各専攻教員 担当分野・出願窓口一覧

1. 量子線科学専攻

分野		氏 名	研究指導分野	出願窓口
環境放射線科学	※2	田 内 広	遺伝子損傷の修復機構、放射線分子生物学に関する研究	水戸
		鳥 養 祐 二	放射性核種の環境動態に関する研究と、核融合炉燃料の安全取扱に関する研究	水戸
		中 村 麻 子	老化とがん化に関する細胞生物学的研究	水戸
	※1	横 谷 明 徳	放射線照射効果に関する生物物理学的研究	水戸
	(連携教員)			
		木 名 瀬 栄	放射線防護、特に人体影響評価を目的とした放射線及び線量の測定・評価	水戸
		森 岡 孝 満	放射線発がんリスクとそのメカニズムに関する研究	水戸
物質量子科学		池 田 輝 之	ナノ構造科学、熱電材料、機能材料	日立
		岩 瀬 謙 二	構造・機能材料、水質貯蔵材料、中性子回折	日立
		岩 本 知 広	粒界・界面、接合工学、電子顕微鏡学、量子線を使った材料組織解析	日立
		桑 原 慶 太 郎	中性子・X線散乱実験による強相関電子系の電子状態に関する微視的研究	水戸
		阪 口 真	素粒子論、ゲージ理論、超弦理論	水戸
	※1	篠 嶋 妥	材料実験の計算機シミュレーション、薄膜物性工学	日立
		佐 藤 成 男	量子ビーム回折・散乱による金属ミクロ組織解析学、結晶塑性学	日立
	※2	佐 藤 直 幸	プラズマ理工学からのプラズマ生成・計測・制御とナノテクノロジープラズマプロセスへの応用	日立
		鈴 木 徹 也	鉄鋼材料、軽金属材料の塑性加工、ミクロ組織制御、中性子回折による検討	日立
		中 川 尚 子	統計力学、非線形非平衡系の物理学、理論生物物理学	水戸
		中 野 岳 仁	配列ナノ空間を用いた新しい相関電子系の物質開発と物性研究	水戸
		西 剛 史	高温における熱物性評価、局所構造解析	日立
		西 野 創 一 郎	量子線を利用した機械構造物の健全性評価と材料解析、材料強度学、材料加工学（塑性加工学、接合工学）	日立
		百 武 慶 文	素粒子論、弦理論	水戸
		福 井 隆 裕	物性理論	水戸
	※1	湊 淳	防災や環境計測を目的として画像処理、ネットワークセンシング、光計測技術などを使いハードウェア技術と情報処理技術との組み合わせによる技術開発	日立
		横 山 淳	新奇超伝導現象や量子スピン揺らぎに対する巨視的・微視的実験手法を用いた研究	水戸
	(連携教員)			
		香 川 博 之	有機機能性材料、高分子材料に関する研究	日立
		平 出 哲 也	放射線化学、陽電子（電子の反粒子）・ポジトロニウム（電子と陽電子の結合状態）科学	水戸

分野		氏 名	研究指導分野	出願窓口
化学・生命		海 野 昌 喜	量子線を使ったタンパク質の構造機能相関の研究・生体高分子特論	日立
		江 口 美 佳	固体高分子形燃料電池およびリチウムイオン電池の電極材料開発と量子線を利用した構造解析	日立
	※1	大 友 征 宇	光合成に関わる色素膜タンパク質複合体の構造解析と機能解明	水戸
		北 野 誉	塩基配列の多型解析・系統解析に基づく遺伝子進化の研究	日立
		小 林 芳 男	液相法による機能性薄膜および微粒子の合成法の開発と量子線を利用した微細構造解析	日立
		佐 藤 格	天然物化学および天然物合成を指向した有機合成反応の開発	水戸
		庄 村 康 人	金属タンパク質の生合成・機能に関する量子線構造化学	日立
		中 島 光 一	溶液反応化学に立脚した機能性セラミックスの合成と構造解析	日立
		西 川 浩 之	分子性導体を中心とした機能性物質の開発と物性に関する研究	水戸
		福 元 博 基	電子・光機能性 π 共役高分子の合成・機能評価と量子線を利用した構造解析	日立
		藤 澤 清 史	生体関連遷移金属モデル錯体の構造と分光学的性質の研究	水戸
		細 谷 孝 明	X線および中性子回折を用いた有機固相反応の研究と中性子回折測定制御系の研究開発	日立
		森 聖 治	量子化学を基盤とする化学反応機構に関する理論的研究	水戸
		森 川 敦 司	高分子科学、縮合系高分子の合成	日立
	※2	山 内 智	気相法による薄膜合成とデバイス開発および量子線を利用した構造と機能の解析	日立
		山 内 紀 子	機能性高分子微粒子の液相合成と量子線を利用した構造解析	日立
		山 口 央	ナノ多孔質材料を利用したナノバイオデバイスの開拓に関する研究	水戸
	(連携教員)			
		渡 邊 雅 之	核エネルギー化学	水戸

分野		氏 名	研究指導分野	出願窓口
ビームライン科学		阿 部 仁	XAFSを用いた物質や材料の化学状態および局所構造解析、XAFSを軸とした新しい測定手法の開発と応用	水戸
		飯 沼 裕 美	スピン偏極ミュオンビームを用いた素粒子実験、生体科学実験	水戸
		岩 佐 和 晃	中性子およびX線散乱による新しい電子相転移と構造相転移を探索する物性物理学	水戸
	※1	大 山 研 司	J-PARCでの中性子散乱を利用した材料物性・強相関電子系の研究、および新しい中性子散乱実験法（ホログラフィー法）の開発	日立
		奥 隆 之	中性子の光学的性質を利用した中性子ビーム制御および中性子ビーム実験技術の開発と応用研究	水戸
		小 泉 智	中性子小角散乱を利用したソフトマターの構造と機能に関する研究および新しい中性子散乱装置の開発	日立
		田 中 伊 知 朗	水素・水和水に関する量子線構造生物学と中性子利用法の開発	日立
		星 川 晃 範	中性子およびX線による水素結合に関連した材料の研究と装置開発	日立
		前 田 知 貴	化学合成、ナノ・マイクロ構造解析、物性評価の3つの技術を駆使した機能性ソフトマテリアルの創製	日立
		森 一 広	中性子・X線による蓄電池材料等の構造研究および構造データを活用した材料開発	日立
	(連携教員)			
		木 下 豊 彦	放射光を用いた固体・表面・界面・ナノ材料の電子状態解析	日立
		国 枝 賢	核反応断面積の理論計算および核データライブラリの開発と応用	日立
		近 藤 恭 弘	加速器技術・高周波加速器ビームライン科学	水戸
		佐 藤 哲 也	核・放射化学：重イオン核反応で合成される超アクチノイド元素のシングルアトムレベルでの化学	水戸
		筒 井 智 嗣	量子ビーム（主として放射光）の横断的利用による物質科学	日立
		肥 後 祐 司	高温高圧環境下における結晶構造・物性の放射光X線その場測定	日立
		星 野 真 人	放射光X線画像計測手法および計測装置の開発に関わる研究	日立
	※2	目 時 直 人	中性子散乱による物質の構造と性質の解明と新規な中性子散乱手法の開発	水戸

2. 複雑系システム科学専攻

分野		氏 名	研究指導分野	出願窓口
	※1	下 村 勝 孝	複素解析学、ポテンシャル論	水戸
		鈴 木 香 奈 子	非線形解析学、反応拡散系	水戸
		長 谷 川 雄 央	複雑ネットワーク、ランダム系の統計物理	水戸
		藤 間 昌 一	数理現象の計算解析・アルゴリズム	水戸
		村 重 淳	非線形波動、数値解析	水戸
		渡 邊 辰 矢	非線形散逸系の現象解析	水戸
機能システム科学		及 川 真 平	植物生態学、地球環境変化	水戸
		大 橋 朗	液界面を反応場として利用した合成、分離、検出法の開発	水戸
		神 子 島 博 隆	金属化合物を用いる有機合成反応の開発	水戸
		加 納 光 樹	淡水・汽水魚類の保全生物学	水戸
		北 出 理	シロアリ類と共生微生物の生態学・進化学	水戸
	※1	金 幸 夫	時間・空間分解分光法と微小電極を使ったマイクロ分析・化学に関する研究	水戸
		島 崎 優 一	生体関連配位子を用いた金属錯体の合成・反応性に関する研究	水戸
		野 田 悟 子	シロアリ類の共生微生物の進化に関する研究	水戸
		諸 岡 歩 希	社会性膜翅目昆虫の分類学・系統学・生態学	水戸
	(連携教員)			
		松 本 和 弘	金属錯体を触媒に用いた有機合成反応の開発、構造制御シロキサン材料の開発	水戸

分野		氏 名	研究指導分野	出願窓口
宇宙地球環境システム科学		岡 田 誠	古地磁気学、古海洋学、その他堆積物を用いた古環境変動復元に関する研究	水戸
		片 桐 秀 明	宇宙高エネルギーガンマ線の観測による宇宙線の研究	水戸
		河 原 純	固体地球物理学（地震波の伝播と地震動の研究）	水戸
		北 和 之	大気環境科学（オゾンなど、地球環境に重要な大気物質の研究）、人工衛星等からの地球大気のリモートセンシング	水戸
	※1	小 荒 井 衛	第四紀地質学、応用地形学、地理空間情報科学（地表の変動が人間環境に与える影響（災害）に関する研究）	水戸
		釣 部 通	理論天体形成論、宇宙流体力学	水戸
		橋 爪 光	惑星科学、宇宙地球化学、惑星物質学、アストロバイオロジー	水戸
		細 井 淳	地質学、構造地質学、テクトニクス（特に背弧拡大テクトニクスに関する研究）	水戸
		野 澤 恵	太陽観測、シミュレーションを軸に太陽及び天体物理に関する研究	水戸
		長 谷 川 健	火山学、特に地質学、岩石学、地球化学および古地磁気学を用いた火山の研究	水戸
		藤 谷 渉	宇宙化学（隕石の同位体分析による太陽系形成過程の研究）	水戸
		百 瀬 宗 武	電波天文学、星・惑星系形成、干渉計技術に関する研究	水戸
		米 倉 覚 則	電波天文学、星形成、日立・高萩32m電波望遠鏡を用いた研究	水戸
		若 月 泰 孝	降水に関わる気象・気候学および水工学的研究	水戸

分野		氏 名	研究指導分野	出願窓口
生産システム		清水 淳	マイクロ・ナノトライボロジー、超精密加工	日立
		尾 関 和 秀	生体材料、薄膜形成法、無機材料	日立
		中 村 雅 史	環境調和型設計、表面改質、高分子材料の強度信頼性	日立
		山 崎 和 彦	レーザ加工、微細加工	日立
材料システム		青 野 友 祐	固体物性、ナノサイエンス	日立
		岩 路 善 尚	モータ制御、モータ応用システム	日立
		鵜 殿 治 彦	電子材料、半導体デバイス、シリサイド半導体	日立
		加 藤 雅 之	アクチュエータ工学	日立
		倉 本 繁	金属加工、材料設計、構造用金属材料	日立
		小 林 純 也	鉄鋼材料および軽金属材料の熱処理と塑性加工、それらの機械的特性評価	日立
		小 峰 啓 史	機能材料工学、デバイス工学	日立
		島 影 尚	超伝導エレクトロニクス	日立
		森 孝 太 郎	スマートマテリアル、複合材料、力学特性評価	日立
	※1	和 田 達 明	数理工学、統計力学	日立

分野		氏 名	研究指導分野	出願窓口
計測・制御システム	※1	乾 正 知	高速・高精度な図形処理技術、図形処理技術の機械製造自動化への応用	日立
		長 真 啓	医用メカトロニクス、磁気浮上アクチュエータ	日立
		小 貫 哲 平	ナノ材料、マイクロシステム工学、光応用生産技術	日立
		長 山 和 亮	生体医工学、メカノバイオロジー、マイクロ・ナノ計測・操作	日立
		福 岡 泰 宏	生物型ロボット、メカデザイン	日立
		道 辻 洋 平	機構ダイナミクス学、鉄道車両のダイナミクスと制御、自動車のITSに関する研究	日立
		森 善 一	介護福祉ロボティクス、感性ロボティクス、メカトロニクス	日立
		楊 子 江	不確かさを有するシステムの適応学習制御、制御システムのモデリングと同定	日立
エネルギーシステム	※1	稲 垣 照 美	熱工学、赤外線工学、流体工学、環境工学	日立
		酒 井 康 行	燃焼、化学反応速度論、反応モデリング	日立
		田 中 光 太 郎	熱工学、燃焼工学、レーザー計測	日立
		田 中 伸 厚	数値流体解析（CFD）、複雑流動現象、原子力熱流動、海洋エネルギー	日立
		西 泰 行	流体工学、流体機械	日立
		柳 平 丈 志	高電圧パルスパワー工学	日立
		李 艷 栄	熱流体工学	日立
	(連携教員)			
		粉 川 広 行	衝撃工学、構造工学、キャビテーション損傷	日立
		濱 田 一 弥	核融合エネルギー工学	日立

3. 社会インフラシステム科学専攻

分野		氏 名	研究指導分野	出願窓口
社会インフラ基礎		梅 津 信 幸	画像処理、ユーザインタフェース、メディアアート	日立
		笹 井 一 人	複雑系科学、社会工学、エージェント工学、インタラクション	日立
	※1	新 納 浩 幸	自然言語処理、機械学習、Webアプリケーション	日立
		鈴 木 智 也	非線形時系列解析、複雑系、カオス、人工知能	日立
		竹 田 晃 人	乱雑系の統計物理学及びその情報科学への応用	日立
		宮 嶋 照 行	通信方式、信号処理	日立
都市・環境インフラシステム		熊 澤 貴 之	建築都市デザイン、建築意匠、建築設計、建築計画、景観設計	日立
		車 谷 麻 緒	計算力学・応用力学・構造物の非線形数値解析法	日立
		桑 原 祐 史	衛星リモートセンシングデータの処理／解析技術、各種国土情報の計測・解析、CO ₂ 濃度と地域特性の分析技術	日立
		田 村 誠	気候変動の影響予測と適応評価、気候変動緩和のための社会・経済分析、気候変動対策・政策評価	日立
		外 岡 秀 行	リモートセンシング、画像処理、空間情報システム	日立
		原 田 隆 郎	社会基盤施設の維持管理工学／AL（人工生命）技術を利用したマネジメントシステムの開発	日立
		肥 田 剛 典	建築構造工学，地震防災工学，建築物の構造ヘルスマニタリング，地震シミュレーションによる室内被害および人的被害評価	日立
		平 田 輝 満	交通システム工学、運輸政策、都市・交通システムの環境影響評価、災害時交通運用、航空交通と空港計画	日立
		藤 田 昌 史	水環境保全・水インフラ技術	日立
		横 木 裕 宗	気候変動への沿岸域の影響と適応策、沿岸域環境の物理的解析	日立

分野		氏 名	研究指導分野	出願窓口
情報・通信インフラシステム	※1	上 田 賀 一	ソフトウェア工学、ソフトウェアモデル検証	日立
		鵜 野 克 宏	レーザ応用計測、光情報処理	日立
		大 瀧 保 広	応用情報システム、ネットワークセキュリティ	日立
	※1	鎌 田 賢	パターンの近似・分析の理論、情報システム応用	日立
		木 村 孝 之	撮像デバイス、集積回路	日立
		祖 田 直 也	電磁界数値解析、非線形材料特性	日立
		武 田 茂 樹	無線通信システム、アンテナシステム	日立
		那 賀 明	光通信工学	日立
		中 村 真 毅	レーザ工学、フェムト秒レーザ	日立
		羽 渕 裕 真	通信の方式と理論に関する研究	日立
		藤 芳 明 生	形式言語理論、グラフアルゴリズム	日立
		横 田 浩 久	光エレクトロニクス、光通信システム	日立
		米 山 一 樹	暗号理論、プライバシー保護	日立
		王 瀟 岩	通信・ネットワーク工学	日立
	(連携教員)			
		松 井 隆	光計測工学特論	日立

※1：2027年3月退職予定

※2：2028年3月退職予定

入 学 志 願 票
Application Form for Admission

提出日 Filing date : 月(Month) _____ 日(Date) _____ 年(Year) _____

入学区分 Desired date of enrollment	☐ 2026 年 4 月 1 日 (April 1, 2026) ☐ 2026 年 9 月 21 日 (September 21, 2026)	受験番号 Examinee No.	※
選抜区分 Category of selection	☐ 一 般 選 抜 General Category ☐ 社 会 人 特 別 選 抜 Special Category for Working Applicants ☐ 外国人留学生特別選抜 Foreign Student Admission		
フリガナ 氏 名 Name		性別 Sex	☐ 男 Male ☐ 女 Female
生年月日 Date of birth	_____(Age) 歳 月 (Month) 日 (Date) 年 (Year)		
志望専攻名 Desired major			
志望指導教員名 Expected supervisor			
文部科学省奨学金申請予定 MEXT Scholarships plan	☐ 国費外国人留学生の奨学金に申請する予定である。 I have plans to apply for Japanese Government (Monbukagakusho:MEXT) Scholarships.		
出身校 School attending/attended	_____ 大学 University _____ 学部 Faculty/College _____ 学科 Department		卒業・卒業見込 Date of (expected) Graduation _____ 年(西暦) _____ Year _____ 月 _____ Month
	_____ 大学大学院 University _____ 研究科 Graduate school _____ 専攻(修士・博士)課程 Major of master's program		修了・修了見込 Date of (expected) Graduation _____ 年(西暦) _____ Year _____ 月 _____ Month
現住所 Present address	〒 _____	Phone _____	E-mail _____
合格通知書等の 受信場所 Address for notification of the application results	〒 _____	Phone _____	E-mail _____

注意 Note 1. ※印欄は、記入しないでください。※ Leave blank.
2. 「合格通知書等の受信場所」は、入学決定までの通知を受ける場所を記入し、変更した場合は、速やかに届け出てください。When the address for notification of the application results is changed, please immediately inform the Admission Office of the College of Science/Engineering of Ibaraki University.
3. 志望指導教員には、事前に連絡を取っておいてください。
Please contact in advance the expected supervisor.

履 歴 書
Curriculum Vitae

入学区分 Desired date of enrollment	☐ 2026 年 4 月 1 日 (April 1, 2026) ☐ 2026 年 9 月 21 日 (September 21, 2026)		受験番号 Examinee No.	※	
氏 名 Name				性別 Sex	☐ 男 Male ☐ 女 Female
学 歴 Educational background	小学校名 Name of Elementary School	☐ 卒業 Graduated	自 From	至 To	在学年数 Period of Attendance
		☐ 卒業見込 Expect to Graduate	年 月 Year Month	年 月 Year Month	年 Years
	中学校名 Name of Secondary School	☐ 卒業 Graduated	自 From	至 To	在学年数 Period of Attendance
		☐ 卒業見込 Expect to Graduate	年 月 Year Month	年 月 Year Month	年 Years
	高等学校名 Name of Upper Secondary School	☐ 卒業 Graduated	自 From	至 To	在学年数 Period of Attendance
		☐ 卒業見込 Expect to Graduate	年 月 Year Month	年 月 Year Month	年 Years
	大学名 Name of University or Equivalent	☐ 卒業 Graduated	自 From	至 To	在学年数 Period of Attendance
		☐ 卒業見込 Expect to Graduate	年 月 Year Month	年 月 Year Month	年 Years
	大学院名 Name of Graduate School	☐ 卒業 Graduated	自 From	至 To	在学年数 Period of Attendance
		☐ 卒業見込 Expect to Graduate	年 月 Year Month	年 月 Year Month	年 Years
職 歴 Employment record	勤務先名 Name of company or employer		自 From	至 To	在職年数 Period of Employment
			年 月 Year Month	年 月 Year Month	年 Years
	勤務先名 Name of company or employer		自 From	至 To	在職年数 Period of Employment
			年 月 Year Month	年 月 Year Month	年 Years
	勤務先名 Name of company or employer		自 From	至 To	在職年数 Period of Employment
			年 月 Year Month	年 月 Year Month	年 Years

注意 Note 1. 外国の大学を卒業又は大学院を修了（見込）の者**以外の者は、高等学校入学時から**記入してください。
Unless the applicant graduated from a foreign university or is expected to graduate a foreign graduate school, please fill the educational background after the graduation of the secondary school.

2. 虚偽の記載をした場合は、入学を取り消すことがあります。
False statement may disqualify your application.

受 験 票
Admission Slip for Examination

入学区分 Desired date of enrollment	☐ 2026 年 4 月 1 日 (April 1, 2026) ☐ 2026 年 9 月 21 日 (September 21, 2026)	受験番号 Examinee No.	※
選抜区分 Category of selection	☐ 一 般 選 抜 General Category ☐ 社 会 人 特 別 選 抜 Special Category for Working Applicants ☐ 外国人留学生特別選抜 Foreign Student Admission		
志望専攻 Desired Major	専 攻 Major		
フリガナ 氏 名 Name			☐ 男 Male ☐ 女 Female
試 験 場 Examination room	☐ 水戸キャンパス Mito campus ☐ 日立キャンパス Hitachi campus ☐ 東海サテライトキャンパス Tokai satellite campus		

写 真 票
Applicant's
Photograph

入学区分 Desired date of enrollment	☐ 2026 年 4 月 1 日 (April 1, 2026) ☐ 2026 年 9 月 21 日 (September 21, 2026)	
選抜区分 Category of selection	☐ 一 般 選 抜 General Category ☐ 社 会 人 特 別 選 抜 Special Category for Working Applicants ☐ 外国人留学生特別選抜 Foreign Student Admission	
受験番号 Examinee No.	※	
志望専攻 Desired Major	専 攻 Major	
フリガナ 氏 名 Name		☐ 男 Male ☐ 女 Female

写真・Photo
縦 4cm × 横 3cm
写真のウラに氏名
を記入すること
Write your name on
the back of the photo

注意 Note

- ※印欄は、記入しないでください。※ Leave blank.
- 氏名は、住民票又はパスポートのとおり記入してください。
「Name」 must be as given in the Resident Certificate or Passport.
- 写真は、縦 4 c m × 横 3 c m 正面上半身無帽で、出願 3 か月以内に撮影したもの。
Photograph must be 3 cm × 4 cm in size and taken within 3 months before submission of the form.

修士学位論文要旨または研究経過報告書

Summary of Master's Thesis or Progress Report of Master Program Research

入学区分 Desired date of enrollment	☐ 2026年4月1日 (April 1, 2026) ☐ 2026年9月21日 (September 21, 2026)	受験番号 Examinee No.	※
選抜区分 Category of selection	☐ 一般選抜 General Category ☐ 社会人特別選抜 Special Category for Working Applicants ☐ 外国人留学生特別選抜 Foreign Student Admission		
氏名 Name		志望専攻名 Desired Major	

注 Note ※印欄は，記入しないでください。 ※ Leave blank.

氏 名 Name		志 望 専 攻 名 Desired Major		受 験 番 号 Examinee No.	※
-------------	--	----------------------------	--	-------------------------	---

研究及び業務上の業績調書
Research and Career Achievement Records

入学区分 Desired date of enrollment	☐ 2026年4月1日 (April 1, 2026) ☐ 2026年9月21日 (September 21, 2026)	受験番号 Examinee No.	※
選抜区分 Category of selection	☐ 一般選抜 General Category ☐ 社会人特別選抜 Special Category for Working Applicants ☐ 外国人留学生特別選抜 Foreign Student Admission		
氏名 Name		志望専攻名 Desired Major	

- ◎ 下記の事項を横書で記入してください。(鉛筆使用不可)
Please fill in the following information. Please do not use a pencil when filling this form.
- 1. 学術論文・研究報告・特許等の名称。 Scientific publications・Research reports・Numbers of patents
 - 2. 発行又は発表年月。 Year of publication or presentation.
 - 3. 発行所，発表雑誌等又は発表学会等の名称。 Name of publishers, scientific journals or conferences
 - 4. 全著者名。 Names of all authors.
 - 5. その他。 Other information.

茨城大学大学院理工学研究科
The Graduate School of Science and Engineering, Ibaraki University

注 Note 1. 用紙が不足する場合は，コピーして使用してください。
Additional sheets of paper may be attached if necessary.

2. ※印欄は，記入しないでください。 ※ Leave blank.

研究計画書
Research Plan

No.1

入学区分 Desired date of enrollment	☐ 2026年4月1日 (April 1, 2026) ☐ 2026年9月21日 (September 21, 2026)	受験番号 Examinee No.	※
選抜区分 Category of selection	☐ 一般選抜 General Category ☐ 社会人特別選抜 Special Category for Working Applicants ☐ 外国人留学生特別選抜 Foreign Student Admission		
氏名 Name		志望専攻名 Desired Major	

注 Note ※印欄は，記入しないでください。※ Leave blank.

宛名票

Address Slip

注意

Caution

合格通知書・入学手続き類等の郵送に利用します。
住所は必ず受け取ることのできる場所を記入してください。

Please fill in the address where you wish to receive the
Result Notification Notice and other admission related
documents.

氏名は必ず志願者本人の名前を記載してください。
Name must be the name of applicant him/herself.

必ず全ての宛名票を記入してください。
Please fill in all of Address Slips.

郵便番号 Postal code :

住所 Address :

名前 Name :

受験番号 Examinee's No : ※

※この欄は記入不要です。Leave blank.

郵便番号 Postal code :

住所 Address :

名前 Name :

受験番号 Examinee's No : ※

※この欄は記入不要です。Leave blank.

郵便番号 Postal code :

住所 Address :

名前 Name :

受験番号 Examinee's No : ※

※この欄は記入不要です。Leave blank.

入学試験出願資格認定審査申請書
Application Form for Applicant's Eligibility

提出日 Filing date : 月(Month) _____ 日(Date) _____ 年(Year) _____

入学区分 Desired date of enrollment	☐ 2026 年 4 月 1 日 (April 1, 2026) ☐ 2026 年 9 月 21 日 (September 21, 2026)	受験番号 Examinee No.	※記入不要 ※Leave Blank	
選抜区分 Category of selection	☐ 一 般 選 抜 General Category ☐ 社 会 人 特 別 選 抜 Special Category for Working Applicants ☐ 外国人留学生特別選抜 Foreign Student Admission			
フリガナ			性別 Sex	☐ 男 Male ☐ 女 Female
氏 名 Name				
生年月日 Date of birth	_____(Age 歳) 月 (Month) 日 (Date) 年 (Year)			
志望専攻名 Desired major				
志望主要研究分野 又はコース Desired research field or course				
志望指導教員名 Expected supervisor				
出 身 校 School attending/attended 高等教育段階の学校を 卒業していない場合は 記入不要です。 An applicant who did not graduate from a school of the higher education level may not fill in this column.	大学 University 学部 Faculty 学科 Department		卒業・卒業見込 Date of (expected) Graduation _____(西暦) Year _____(月) Month	
	大学大学院 University 研究科 Graduate school 専攻 (修士・博士) 課程 Major of master's program		修了・修了見込 Date of (expected) Graduation _____(西暦) Year _____(月) Month	
勤 務 先 Name of company or employer				
現 住 所 Present address	〒 _____	Phone _____	E-mail _____	
認定通知書等の 受 信 場 所 Result notification address	〒 _____	Phone _____	E-mail _____	

注意 Note 1. 「認定通知書等の受信場所」は、入学決定までの通知を受ける場所を記入し、変更した場合は、速やかに届け出てください。
If there are any changes in the result notification address, please inform the University immediately.
2. 志望指導教員には、事前に連絡を取っておいてください。
Please contact in advance the expected supervisor.

入学試験出願資格認定審査調書
Summary of Previous Research Activities

フリガナ				受験番号 Examinee No.	※
氏 名 Name					
現 職 Present Position		生年月日 Date of Birth	(Age 歳)		
			月(Month)	日(Date)	年(Year)

学 歴・Educational background					
自 年／月 ～ 至 年／月 Year／Month ～ Year／Month			事 項・Names of schools attended		
／ ～ ／					
／ ～ ／					
／ ～ ／					
／ ～ ／					
／ ～ ／					
／ ～ ／					

職 歴 (研究・開発等の業務内容がわかるように詳しく記入すること。) Employment records (Fill in details about research and development employment)	
自 年／月 ～ 至 年／月 Year／Month ～ Year／Month	事 項・Names of Companies/Institutions, subjects of research and development
／ ～ ／	
／ ～ ／	
／ ～ ／	
／ ～ ／	
／ ～ ／	
／ ～ ／	

学会及び社会における活動等・Scientific Society and Social Activities	
自 年／月 ～ 至 年／月 Year／Month ～ Year／Month	事 項・Matters engaged
／ ～ ／	
／ ～ ／	
／ ～ ／	
／ ～ ／	
／ ～ ／	
／ ～ ／	

注意 Note ※印欄は、記入しないでください。※ Leave blank.

茨城大学大学院理工学研究科博士後期課程

Application for Admission to the Graduate School of Science and Engineering, Ibaraki University (Doctoral Program)

出願資格認定審査に関する志望指導教員による意見書

Written Statement of Expected Supervisor for Applicant's Eligibility

令和 年 月 日

理工学研究科博士後期課程委員会 委員長 殿

志望指導教員専攻 理工学研究科博士後期課程 _____ 専攻

志望指導教員職位・氏名 _____ 印

被審査者 _____ 氏の出願資格認定審査について、下記の通り意見書を提出致します。

記

基礎資格 _____ 大学 _____ 学部 _____ 学科 _____ 卒業
その他資格 _____ 卒業・修了

意見記入欄 (※1)

※1 出願資格認定審査においては、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があるか否かを出願前に審査します。博士後期課程委員会においては、このことについて審議します。従って、被審査者が、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると判断する理由を記載してください。

以上

在職期間証明書
Certificate of Professional Career / Employment

現 住 所 〒 —
Present Address

受 験 者 氏 名
Name of Applicant

入学区分 Desired date of enrollment	☐ 2026年4月1日 (April 1, 2026) ☐ 2026年9月21日 (September 21, 2026)	受験番号 Examinee No.	※
選抜区分 Category of selection	☐ 一般選抜 General Category ☐ 社会人特別選抜 Special Category for Working Applicants ☐ 外国人留学生特別選抜 Foreign Student Admission		

注 Note ※印欄は、記入しないでください。※ Leave blank.

Month _____月 Date _____日 / Year _____年

所属機関名（事業所名） Name of Institution/Company	
職 種 Position of Applicant	
在職期間 又は 在職した期間 Period in employment	自 月 _____ 日 _____ 年 _____ Since Month _____ Date _____ / Year _____ ~ 至 月 _____ 日 _____ 年 _____ Until Month _____ Date _____ / Year _____

住 所（所在地） 〒 —
Address of Institution/company

勤 務 先 名
Name of institution/company or employer

職 名
P o s i t i o n

氏 名
Name (Signature)

_____ 印

コンビニエンスストアでの入学検定料払込方法

下記のコンビニ端末にてお支払いください（インターネット登録不要）

1 お申込み

㊦ セブン-イレブン

マルチコピー機

<https://www.sej.co.jp/services/multicopy>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「学び・教育」よりお申込みください。



学び・教育

入学検定料等支払

LAWSON

Loppi

MINISTOP
Loppi

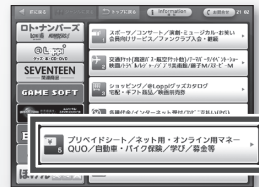
<https://www.lawson.co.jp>

<https://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「各種サービスメニュー」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン

学び・教育・各種検定試験

大学・短大・専門、小・中・高校等お支払い

あなたも、コンビニに、

FamilyMart

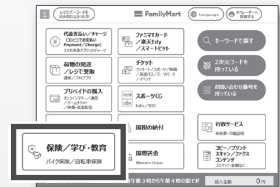
マルチコピー機

<https://www.family.co.jp>

最寄りの「ファミリーマート」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「保険／学び・教育」よりお申込みください。



保険／学び・教育

学び・教育

大学・短大・大学院 入学検定料支払いサービス

茨城大学大学院

をタッチし、申込情報を入力して「払込票／申込券」を発券ください。

*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

① コンビニのレジでお支払いください。

端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi、マルチコピー機)が出力されますので、**30分以内にレジにてお支払いください。**

*出願期間最終日の支払受付時間は15時までとなります。 *お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

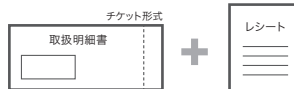


払込手数料 (税込)	入学検定料が5万円未満	550円
	入学検定料が5万円以上	770円

(セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ)

② お支払い後チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機)または「払込受領証」(Loppi)。



(ファミリーマート)

② お支払い後受領書(レシート)をお受け取りください。



3 出願

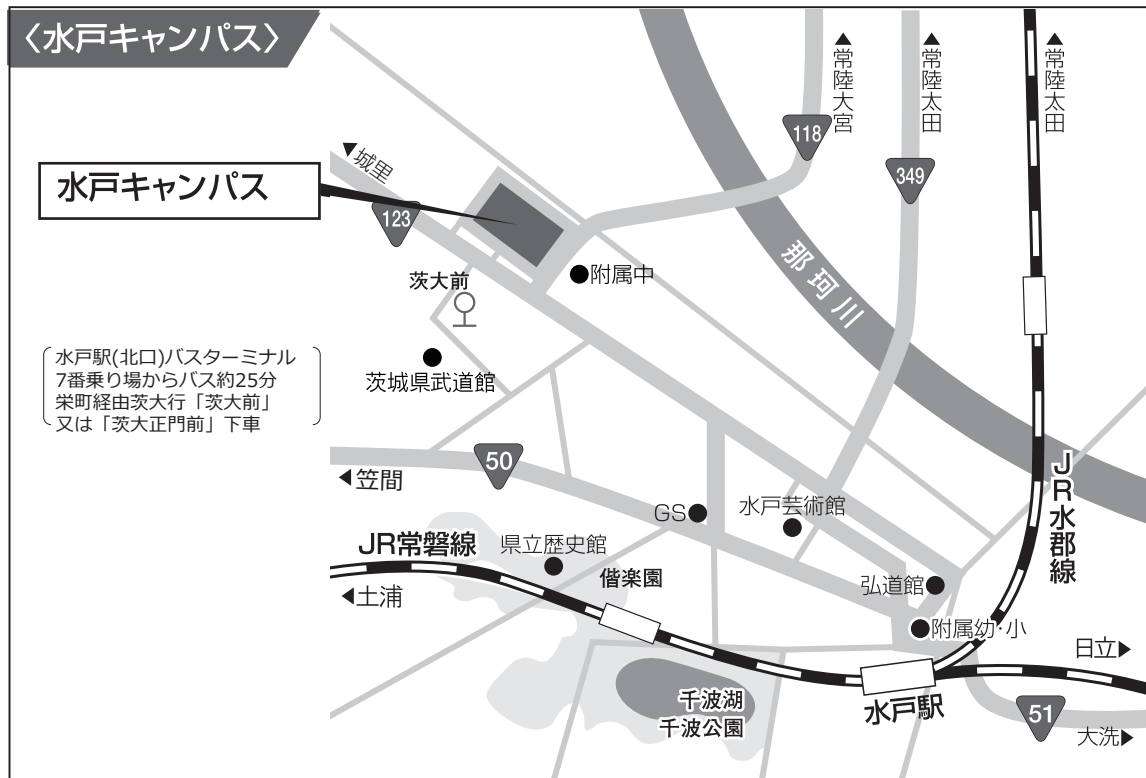
「取扱明細書」または「払込受領証」の「収納証明書」部分を切り取り、他の出願書類とともに提出してください。

受領書(レシート)を他の出願書類とともに提出してください。

◎試験場等案内

水戸キャンパス： <https://www.ibaraki.ac.jp/generalinfo/campus/mito/>

日立キャンパス： <https://www.ibaraki.ac.jp/generalinfo/campus/hitachi/>



茨城大学大学院 理工学研究科入試係

茨城大学ホームページ

<https://www.ibaraki.ac.jp/>

理工学研究科ホームページ

<https://www.gse.ibaraki.ac.jp/>

(出願窓口：水戸)

〒310-8512 水戸市文京 2 丁目 1 番 1 号

TEL:029-228-8332

(出願窓口：日立)

〒316-8511 日立市中成沢町 4 丁目12番 1 号

TEL:0294-38-5010